

【開催案内】 科学技術・学術政策研究所講演会のお知らせ

科学技術・学術政策研究所による講演会を下記のとおり開催致しますので、皆様ふるってご参加くださいますようお願い申し上げます。なお、お手数ですが聴講を希望される方はご所属・お名前を6月22日（木）13時までに、メールにて予めお知らせいただきますようお願いいたします。（会場の都合により出席者を調整させていただく場合があります。）

記

○講演会テーマ

「博士人材のキャリアパスの多様化に向けた URA の可能性」

○講演①：「URA の仕事と求められる能力の多様性」

NISTEP 第2 調査研究グループ上席研究官 荒木寛幸氏

○講演②：「URA として働く際の博士人材の優位性：岡山大学を事例に」

岡山大学エグゼクティブアドバイザー・名誉教授 山本進一氏

○日時 : 2017 年 6 月 29 日（木） 14 : 00 ~ 16 : 00 （13 : 30 開場）

○場所 : 文部科学省 科学技術・学術政策研究所 大会議室
東京都千代田区霞ヶ関 3-2-2 中央合同庁舎第 7 号館東館 16 階

○講演主旨：

博士人材のキャリアパスの多様化が求められています。そこで、博士人材の活躍が期待される「職」の選択肢の一つとして、URA を取り上げます。本講演会では、URA の現状と課題、及び、博士人材の URA としての岡山大学における活躍事例をもとに、URA が博士人材のキャリアパスとして拡大していく可能性があるのかについて検討します。

第5期科学技術基本計画では、若手人材が能力を十分に発揮できる環境が整備されていないことや、高い能力を持つ学生等が博士課程進学を躊躇していること等、いわゆる「博士人材問題」の存在を指摘しています。一方、同基本計画は、大学及び公的研究機関等において、高度な知の創出と社会実装を促進するために、研究活動全体のマネジメントを主務とするリサーチ・アドミニストレーター（URA : University Research Administrator）を含む多様な人材が必要であるとし、科学技術イノベーションを担う URA 等の多様な人材について、「キャリアパスの確立と人材の育成・確保のための取組を推進する」としています。更に、第78回科学技術・学術審議会人材委員会においても、引き続き検討すべき主要事項のうち「職」の例として URA が取り上げられています。URA の業務は広範に渡り、博士人材の専門性の活用が期待される業務も含まれています。本講演会では、URA の現状と課題、及び、博士人材の URA としての活躍事例をもとに、URA が博士人材の中長期的なキャリアパスとなる可能性について議論します。

○講演①講師略歴：荒木寛幸氏

九州大学発ベンチャー企業で勤務の後、熊本大学知的財産マネージャー、熊本大学研究コーディネーター（統括 URA）、徳島大学研究支援・産官学連携センターリサーチアドミニストレーション部門長准教授を歴任。現在は、当研究所第2調査研究グループ上席研究官として産学連携・地域イノベーションに関する調査研究に従事。

○講演②講師略歴：山本進一氏

名古屋大学農学部学部長、名古屋大学理事・副総長、岡山大学理事・副学長をご歴任されました。現在は、名古屋大学名誉教授、岡山大学名誉教授、岡山大学エグゼクティブアドバイザー、大学改革支援・学位授与機構研究開発部客員教授、自然科学研究機構研究力強化推進本部客員教授としてご活躍されています。

○講演会の参加申込み・講演内容についてのお問合せ

下記アドレス宛に、ご氏名、ご所属を添えてお申込みください。
尚、会場の都合により出席者を調整させて頂く場合があります。

【お申込み・お問い合わせの宛先】

科学技術・学術政策研究所 第1調査研究グループ（担当 椿）

TEL : 03-3581-2395 / FAX : 03-3503-3996 E-mail : seminar-1pg@nistep.go.jp

○お申込みの締め切り

参加のお申込みの締め切りは6月22日（木）13時です。

○開場へのアクセス

文部科学省 科学技術・学術政策研究所 大会議室

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3-2-2 中央合同庁舎第7号館東館16階



図中の○囲み英数字は地下鉄の出口を示します。